

災害リスク、環境汚染、地域活動に対する公共政策の効果とは？

関連キーワード: リスク、環境、災害

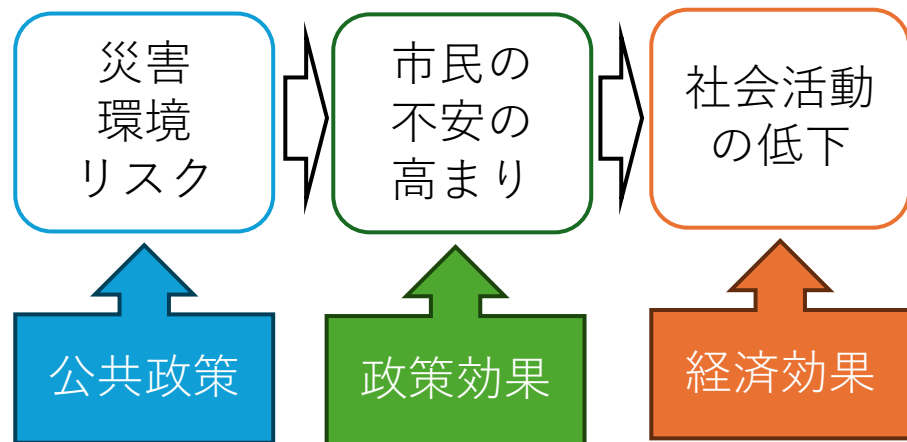
研究内容

自然災害や環境汚染に対する市民の不安に対し、様々な施策が行われている。

他方、広い分野で行われる公共事業に対し、その必要性への疑問符が投げかけられているのもまた事実である。

それら災害対策や環境保全施策が市民の不安を和らげる効果的な施策なのか、また、その帰結としての市民生活の影響はどうなっているのかを市民に示す必要がある。

本研究者の研究では、これらの施策の効果が如何に市民生活の活動を支え、コミュニティーや地域の伝統・文化などの社会活動の改善に貢献しているかを示す試みを行っている。



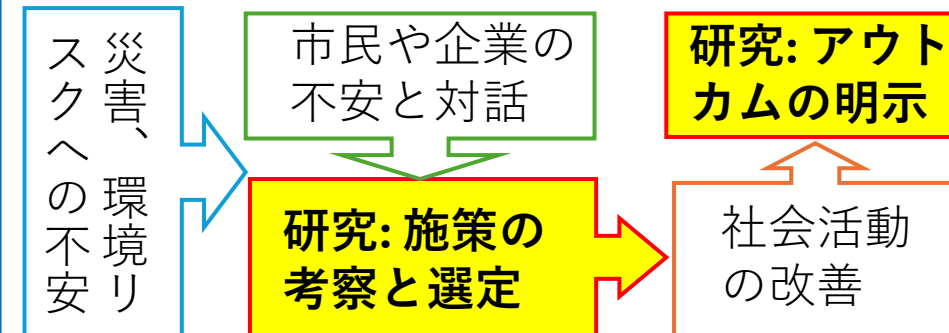
研究者プロフィール

- 地域総合学部 政策デザイン学科 教授 奥山忠裕
- 専門分野：公共経済学、環境経済学
- 研究分野：環境評価、リスク評価、消費者行動
- 所属学会：日本経済学会、土木学会
- 主な経歴、著書 など



- ①創る×まち 育てる×ひと：地域創造と大学
(担当:第7章 地域活性化施策の政策構成)
- ②チケットを売り切る劇場：兵庫県立芸術文化センターの軌跡
(担当：第6章 県民にとっての劇場)
- ③災害の経済学(担当:第13章 文化資本への影響)
- ④顕示選好データを用いた環境評価 (単著)

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他



研究者への連絡先

・ E-mail アドレス：okuyama@mail.tohoku-gakuin.ac.jp